

1 履歴書の作成方法の変更に伴うアンケート調査結果

- 令和5年度の就職問題検討会議において、「申し合わせ」の中で生徒が作成する全国高等学校統一用紙（応募書類：その1＜履歴書＞）の作成方法について、「手書き作成、PC作成、どちらでも可」に変更したため、就職希望者のいる県立・私立高等学校（全日制・定時制・通信制）でアンケート調査を行った。
- 就職希望者のいる高校の回答数：県立＝60校 私立＝16校 計76校
- 結果は、以下のとおりです。

(1) 学科別の履歴書作成手法

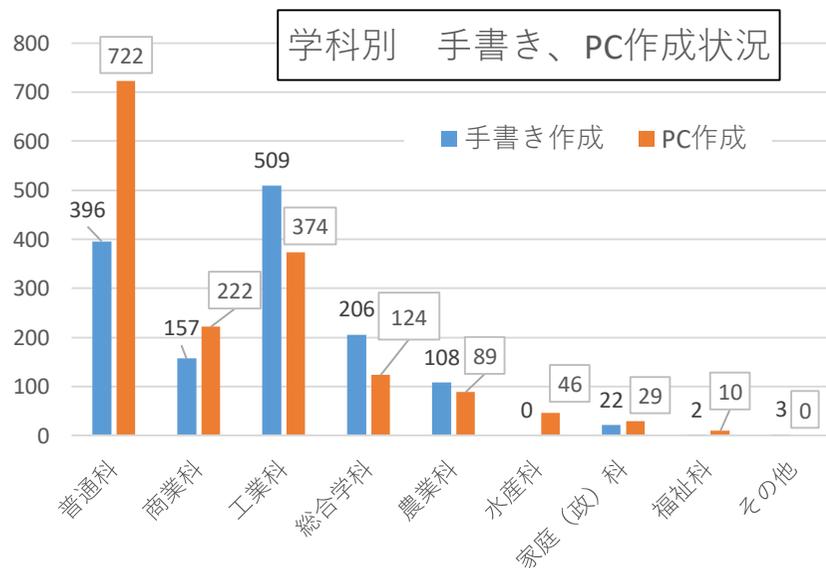
	手書き作成	%	PC作成	%	履歴書記入者数計
普通科	396	35.4%	722	64.6%	1,118
商業科	157	41.4%	222	58.6%	379
工業科	509	57.6%	374	42.4%	883
総合学科	206	62.4%	124	37.6%	330
農業科	108	54.8%	89	45.2%	197
水産科	0	0.0%	46	100.0%	46
家庭(政)科	22	43.1%	29	56.9%	51
福祉科	2	16.7%	10	83.3%	12
その他	3	100.0%	0	0.0%	3
計	1,403	46.5%	1,616	53.5%	3,019

※回答があった76校(県立と私立計)の11月末時点就職希望者数

※特別支援学校を除く

(1)の内訳: 県立高校60校(全日制・定時制)

	手書き作成	%	PC作成	%	履歴書記入者数計
普通科	276	29.8%	650	70.2%	926
商業科	155	41.4%	219	58.6%	374
工業科	509	57.6%	374	42.4%	883
総合学科	206	62.4%	124	37.6%	330
農業科	108	54.8%	89	45.2%	197
水産科	0	0.0%	46	100.0%	46
家庭科	14	33.3%	28	66.7%	42
福祉科	2	16.7%	10	83.3%	12
その他	3	100.0%	0	0.0%	3
計	1,273	45.3%	1,540	54.7%	2,813



(1)の内訳: 私立16校(全日制・通信制)

	手書き作成	%	PC作成	%	履歴書記入者数計
普通科	120	62.5%	72	37.5%	192
商業科	2	40.0%	3	60.0%	5
家政科	8	88.9%	1	11.1%	9
計	130	63.1%	76	36.9%	206

(2) 上記の(1)で手書きを選んだ理由

選択理由	高校数	%
①企業との信頼関係で従来どおり、高校(先生)が選んだ	15	44.1%
②生徒の判断(PCが苦手など)	8	23.5%
③生徒の判断(字がきれいなど)	2	5.9%
④その他	9	26.5%
計	34	

※回答高校数(県立・私立計): 34校

(2)④その他の理由

ア 1回目は全員手書きの指導をしたが、どちらでも可である旨を説明し、字が汚い生徒などはPCを勧めた。PCのみの企業も1件あった。本人が手書きにこだわる場合もあった。

イ 両方提示したが、「志望動機」の文字数の関係で手書きを選んだ生徒が多かった。

ウ 手書きであれば場所を選ばないで書くことができるため、手書きの割合の方が大きかった。

エ Windows搭載の端末を所持している生徒が少なく、履歴書作成に学校の端末を使用する必要があったため。夏休み中の進路活動においては、多数の生徒が同時進行で履歴書を作成しており、コンピューター室を利用しない限りパソコンでの作成が難しかった。コンピューター室がHR教室から離れており、管理上の課題もあったため、今年度は進路活動のためのコンピューター室利用を見合わせた。好んでパソコンを使用したいと申し出た生徒も少なく、今年度については結果的に大多数の履歴書が手書きで作成された。ただ、二次応募以降の履歴書作成においては、生徒対応が個別になされたため、学校の端末を適宜貸し出したり、生徒がgoogleスプレッドシートで編集した履歴書を担任が職員用のWindows端末で修正・出力する対応も数件見られた。応募書類を複数回作成したり、誤字・脱字等で手直しが必要になったりするケースでは、パソコンでの作成が有利と思われる。しかし、生徒自身が自己をよく見つめ、自己の経験や気持ちに即して志望動機を記述しようとするときに、インターネットと容易につながり、外部から取り込んだ情報のコピー&ペーストが即時にできるパソコンの機能が妨げになることを心配している。

オ 求人来校の際に、企業の方から事前に手書き提出とPC提出での違い等の話を聞き、生徒には手書き、PCどちらでも可であることを説明したうえで、基本手書きで作成するよう指導した。ただし、手書きで書くことが困難な生徒はPCでの作成とした。

カ PCの基本操作(PCのON/OFF、Excelの立ち上げ、保存、文字入力、印刷)が可能な生徒にのみPC作成を許可した。

キ エクセルは生徒のタブレット端末で使用しているアプリでないため、手書き作成となった。

ク 茨城県以外に履歴書を提出する生徒もいたため、全体の動きとして手書きを選んだ。PCの扱いも指導する必要があるため、2年次からの準備が必要と感じている。

(3) 上記(1)でPC作成を選んだ理由

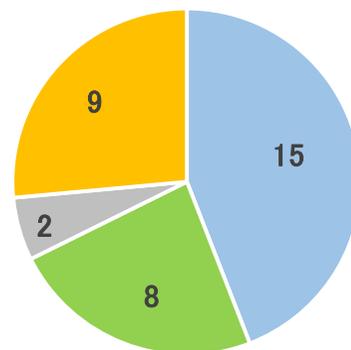
選択理由	高校数	%
①高校等が作成指導から応募までの効率化を考えた	17	40.5%
②生徒の判断(PCが得意など)	4	9.5%
③生徒が作成の効率化、修正の負担感を考えた	21	50.0%
④その他	0	0.0%
計	42	

※回答高校(県立・私立計): 42校

「手書き作成」を選んだ34校

単位:校

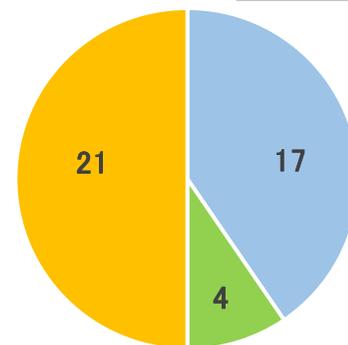
- ①企業との信頼関係で従来どおり、高校(先生)が選んだ
- ②生徒の判断(PCが苦手など)
- ③生徒の判断(字がきれいなど)
- ④その他



「PC作成」を選んだ42校

単位:校

- ①高校等が作成指導から応募までの効率化を考えた
- ②生徒の判断(PCが得意など)
- ③生徒が作成の効率化、修正の負担感を考えた



(4) (3) で回答した高校の「作業効率」

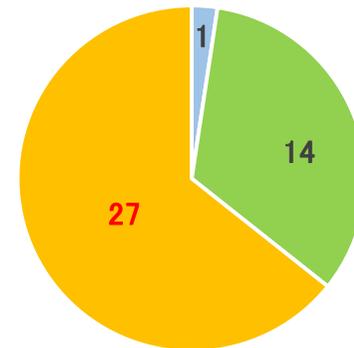
選択項目	高校数	%
①生徒へのPC指導に時間がかかり、分からない	1	2.4%
②PC作成から応募までの一連の過程で効率が 多少良くなった	14	33.3%
③PC作成から応募までの一連の過程で効率が 良くなった	27	64.3%
④その他	0	0.0%
計	42	

※回答高校（県立・私立計）：42校

「PC作成」を選んだ42校の「作業効率」

単位：校

- ①生徒へのPC指導に時間がかかり、分からない
- ②PC作成から応募までの一連の過程で効率が**多少良くなった**
- ③PC作成から応募までの一連の過程で効率が**良くなった**



(5) (3) で回答した高校の「先生の負担感」

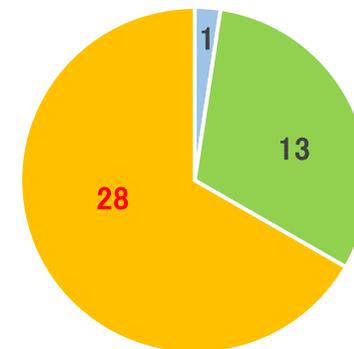
選択項目	高校数	%
①あまり変わらない	1	2.4%
②多少負担感が 軽減した	13	31.0%
③負担感が 大分軽減した	28	66.7%
④その他	0	0.0%
計	42	

※回答高校（県立・私立計）：42校

「PC作成」を選んだ42校の「先生の負担感」

単位：校

- ①あまり変わらない
- ②多少負担感が**軽減した**
- ③負担感が**大分軽減した**



①「あまり変わらない」の理由

○手書きに比べて誤字脱字等の修正は楽だったが、印刷の手間等を考慮すると従来の方法と負担感は変わらないと感じる。

(5) - 2 (5) で「②多少負担感が軽減した」の軽減割合

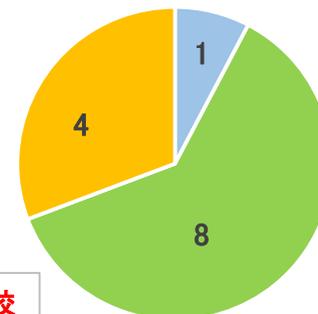
選択項目	高校数	%
① 10%軽減	0	0.0%
② 20%軽減	1	7.7%
③ 30%軽減	8	61.5%
④ 40%軽減	4	30.8%
計	13	

●「多少負担感が軽減した」作業内容

- 生徒への書き直し指導
- 添削指導（生徒の書き直しのしやすさ）
- 手書きとPCと両方指導する必要があったため多少の軽減でした。

多少負担感が軽減した：13校

- ②20%軽減
- ③30%軽減
- ④40%軽減



単位:校

(5) - 3 (5) で「③負担感が大分軽減した」の軽減割合

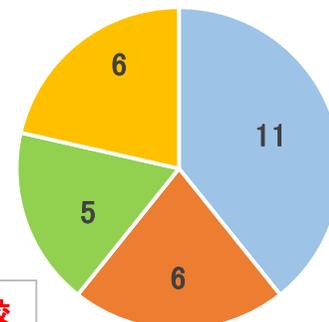
選択項目	高校数	%
① 50%軽減	11	39.3%
② 60%軽減	6	21.4%
③ 70%軽減	5	17.9%
④ 80%軽減	6	21.4%
計	28	

●「負担感が大分軽減した」作業内容

- 生徒が記載内容の修正に必要な時間の短縮につながり、履歴書完成までの指導時間の短縮ができました。
- 志望の動機の欄が読みやすくなり、添削指導の負担が軽減された。
- 複数回にわたる履歴書の作り直しが解消。
- 手書きによるミス初めからの書き直しがなくなったこと
- 誤字・脱字等の確認作業が減少した。
- 誤字脱字の修正 書き直しの指導
- 志望動機の添削、修正による清書の指導

負担感が大分軽減した：28校

- ①50%軽減
- ②60%軽減
- ③70%軽減
- ④80%軽減



単位:校

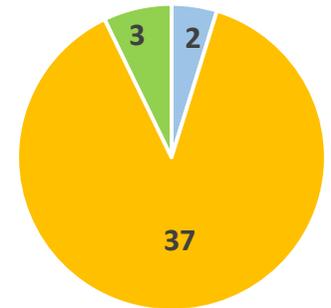
(6) 生徒の反応

選択項目	高校数	%
①手書きとPC作成で戸惑っていた	2	4.8%
②PC作成できることで喜んでた	37	88.1%
③その他	3	7.1%
計	42	

生徒の反応：42校

- ①手書きとPC作成で戸惑っていた
- ②PC作成できることで喜んでた
- ③その他

単位：校



(6) 履歴書のPC作成にあたっての課題や改善点などを自由にご記入ください。(高卒求人票への履歴書作成方法の記載などを含む)

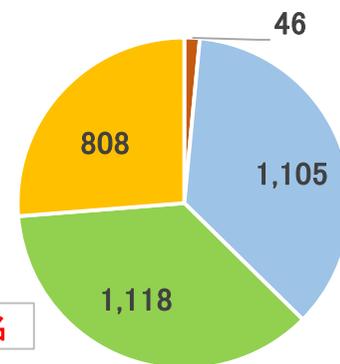
- ①履歴書は全国高等学校統一用紙であるのだから、全国で統一すべきである。
- ②全国で統一してPC作成が可能になるように他県にも働きかけてほしい。
- ③すべての企業で採用して欲しい。
- ④県外事業所の県内就業地についても求人票にPC可否の記載があれば、混乱が起きにくいと思う。
- ⑤他県に本社がある会社は、PC作成のことご存じなくて当惑されていた。
- ⑥就業先事業所は茨城県内だが、本社（人事部）が県外である場合に、作成方法について問い合わせを行う必要があった。
- ⑦県外の高卒求人票にPCか手書きどちらも可等の記載がない企業があり、指導する際迷ったことがありました。
- ⑧手書きに比べて文字が小さくなることから、書くべき分量が増えるため、内容を充実させる指導が必要になってくる。
- ⑨書式（文字の大きさや体裁など）はある程度統一された方が企業側も見やすいのではないかな？
- ⑩文字数が最初に分かっていたら、より書きやすい。
- ⑪文字のフォントやサイズ、改行等の体裁を整えるのに時間がかかった。
- ⑫フォント（文字サイズ）の統一を希望します。
- ⑬自動調節がされていない欄もあった。
- ⑭事業所側が見やすいフォントが何かわからない。文字の大きさや、句読点・段落の置き方に苦慮した。
- ⑮PCの方が志望理由の字数が増えるためフォントサイズは何ポイント以上という指定があってもよい。
- ⑯数字やスペース等について、全角か半角か指示がなかったので、統一の指示があるとありがたい。
- ⑰左右寄せやセンタリングについても、指示があるとありがたい。
- ⑱履歴書のデジタルフォームがない。
- ⑲データの保存や管理。
- ⑳生徒に内容に対する責任を持たせ、その明示をする意味から、氏名ぐらいは手書きにさせたい。
今年は、履歴書が本人に帰属する証がないことが非常に不安であった。
- ㉑必ず学校でデータの確認をするので、手書きよりも確認・修正作業の時間がかかった。
- ㉒生徒はエクセルにあまり慣れておらず、ワードでも作成ができるとよいと思う。
- ㉓応募書類その1 履歴書様式 がエクセルのため非常に使いづらい。
- ㉔クロームブックでも作成できるようにしてほしい。
- ㉕生徒のタブレットがクロームブックであるため、用意されたエクセルの様式が使用できない。
- ㉖スプレッドシート用の履歴書書式があるとよい。（「必要な生徒とGoogleのクラスルームで共有するため」）

2 職場見学の実施状況のアンケート調査結果

選択項目	生徒数(名)	%
①11月末時点の職場見学延べ数	5,215	
②職場見学を1社も行っていない	46	1.5%
③〃 1社のみ実施	1,105	35.9%
④〃 2社のみ実施	1,118	36.3%
⑤〃 3社以上実施	808	26.3%
実人数計(②から⑤)	3,077	

職場見学の実施状況

- ②職場見学を行っていない
- ③〃 1社のみ実施
- ④〃 2社のみ実施
- ⑤〃 3社以上実施



上記②で「1社も職場見学をしなかった理由」は、

- 縁故就職を希望していたが、11月末時点ではまだ志望企業が見つからなかったため。
- 縁故で希望した会社のため。
- 公務員や自衛隊を希望しているため。
- 生徒の就職意欲の低下。
- 家業のため。
- 希望する会社や職種がなかった。
- 本人の方向性が定まらず、職場見学まで進まない状況。

上記③で職場見学を「1社のみ見学とした理由」は、

- ① 実業高校は就職者も多いため、早い段階から過去の求人票を活用して生徒に公開している。進路の自己実現に向けた意識付けや目標設定など、目的意識をしっかり持って学校生活を送れるねらいを込めている。早い段階から目指す職種や職業観を得るために、各学年で段階的なキャリア指導を定期的に計画実施しており、進路ガイダンスやインターンシップ、企業との合同セミナーなど積極的に外部と関わる機会を生徒に提供している。生徒の進路探求の中で、進路を広げる時期と絞っていく時期を工夫しながら学校としての仕組みづくりを行っているため、1社のみ見学で大きな問題もなく進んでいくことができている。
- ② 1年生から計画的に企業研究しているため。
- ③ 企業のことを調べて1社に絞ったようだ。
- ④ 1社を見学後、受験を決定したため。受験意思が固まったため。
- ⑤ 複数見学は可能だったが、生徒が1社しか希望しなかった。
- ⑥ 見学した企業が第1希望であり、他社への興味がなかったため。
- ⑦ 希望する企業が校内選考で決定したため。
- ⑧ 複数の企業を見学するための生徒自身のスケジュール管理や保護者送迎が難しいため。
- ⑨ 企業見学を受験する気持ちで見に行っても、日程的に厳しい。
- ⑩ 職場見学から応募までの期間が短いため十分な指導ができるよう1社とした。

- ⑪ 進学から就職に切り替えた時期が遅かった、すでに意中の企業があった。
- ⑫ 希望選択を慎重にさせるため。
- ⑬ 10月以降の就職活動で随時行っていたため。
- ⑭ 一人一社制で企業にPRしているため。
- ⑮ 1社ずつ応募し、不採用なら次の応募先を決める方針で就職活動をしていたため。

2 全体の内訳：県立高校のみ

選択項目	生徒数(名)	%
①11月末時点の職場見学延べ数	4,823	
②職場見学を行っていない	22	0.8%
③ // 1社のみ実施	1,033	36.2%
④ // 2社のみ実施	1,055	37.0%
⑤ // 3社以上実施	741	26.0%
実人数計 (②から⑤)	2,851	

2 全体の内訳：私立高校のみ

選択項目	生徒数(名)	%
①11月末時点の職場見学延べ数	392	
②職場見学を行っていない	24	10.6%
③ // 1社のみ実施	72	31.9%
④ // 2社のみ実施	63	27.9%
⑤ // 3社以上実施	67	29.6%
実人数計 (②から⑤)	226	

令和5年度 新規高等学校（令和6年3月卒業予定者）求人受理状況（産業分類別） 及び 履歴書の記入方法選択件数・割合

令和5年10月時点

	① 求人件数	② 求人数	①の求人件数のうち				
			③ 両方可	④ 手書きのみ	⑤ P Cのみ	⑥ 就業場所 県外	
A・B農・林業・漁業	35	91	33	94.3%	2	0	0
C鉱業・採石・砂利採取業	3	5	3	100.0%	0	0	0
D建設業	614	1519	561	91.4%	41	1	11
E製造業	1579	5123	1423	90.1%	108	3	45
F電気・ガス	29	75	29	100.0%	0	0	0
G情報通信	70	139	60	85.7%	1	0	9
H運輸・郵便	206	559	180	87.4%	13	0	13
I卸・小売業	369	995	269	72.9%	40	0	60
J金融・保険	8	100	6	75.0%	2	0	0

	① 求人件数	② 求人数	①の求人件数のうち				
			③ 両方可	④ 手書きのみ	⑤ P Cのみ	⑥ 就業場所 県外	
K不動産・物品賃貸	26	62	21	80.8%	5	0	0
L学術研究・専門・技術サービス	86	296	78	90.7%	5	0	3
M宿泊・飲食サービス	36	106	31	86.1%	2	0	3
N生活関連等	138	382	124	89.9%	8	0	6
O教育・学習支援	9	11	8	88.9%	1	0	0
P医療・福祉	407	1144	371	91.2%	28	0	8
Q複合サービス	21	52	20	95.2%	1	0	0
Rサービス業	200	529	178	89.0%	18	0	4
S・T公務他	11	38	11	100.0%	0	0	0

合計	3,847	11,226	3,406	88.5%	275	4	162
				7.1%	0.1%	4.2%	